

巻 頭 言

取締役
LSI 事業部長 富 島 正



このたび伝統ある川崎製鉄技報において、はじめて LSI 特集号を組むことができましたのでお届けします。

当社 LSI 事業は、1985年 8 月の米国 LSI ロジック社（出資比率55%）と当社（同45%）との合併事業である日本セミコンダクタ株式会社の設立によりはじまりました。その後、同年 9 月 LSI 事業推進部発足、1986年10月千葉に LSI 研究センター設置、1990年 8 月 LSI 事業部への改組、1991年 9 月宇都宮工場営業生産開始と進展しました。したがって当社ブランドの商品を世に問うてから、わずか 2 年余、つまりこの業界ではまったくの新人であります。

そもそも、当社の新事業は、1980年代なかば、鉄鋼業としての当社の将来を観たとき、いわゆる成熟産業として、もはや戦後40年間と同じような大きな成長を期待できないとの認識のもと、当社の将来を担うものとしてはじまったものです。世の大半の新事業は、技術、販売のどちらかに本業との接点をもちつつ展開されているものですが、当社の場合、LSI はご存知のとおり、本業とは遠くかけはなれてたところにあります。わずかに同じ産業の米として、すなわち基礎資材としての産業の動き方の類似性のみが、親近感のあるところでした。したがって、個別の技術、販売が、いわゆる皮膚感覚で理解するところまではなかなかいきませんでした。

こうした背景のもと、私どもは「お客様の製品の高付加価値化ニーズに対応して、ソフトウェア、システムをチップ上にとりこんで ASIC を提供する」とのミッションのもと事業を展開しております。事業推進部発足からほぼ 9 年、その間構成人員も600人を数えています。前述のとおり事業そのものとしては、まだまだほんのひょう子であり、とうてい一人前とは言いがたい状況にありますが、若い意欲のある人たちが少しずつではありますが育ってきております。今回そういう人たちを中心に、この LSI 特集号を組むことができました。したがって、未熟な論文や製品紹介が多いと思いますがご一読いただければ幸いです。また、あわせてご批判、ご助言をいただけますようお願い申し上げます。数年後には、LSI 特集第 2 号をもっと充実したものとしてお届けできることをお約束します。